

【教育目標】 磨き合おう 助け合おう 勇気をもとう

令和2年度重点目標

地域の教育力を生かし 人とのかかわりを通して 確かな学力を育成する 心トキめく学校 当校の強み

ア：地域の教育力を活用した教育実践の土台がある イ：保護者・地域が協力的である
ウ：学校を支援する組織がいくつもある エ：学校を支援する事業の指定を受けている

知

- 共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想を生む子ども
- ◇佐渡のよさに気づき、課題解決のために実践する子ども

- 職員各自の研修教科において、筋道を立てて説明できる子どもが1学期50%以上、年度末で70%以上
- 9割以上の日で、家庭学習を提出する子どもが90%以上
- ◇振り返りシートに佐渡や新穂についてのよさの記述がある子どもが90%以上

- 各研修教科の思考力を高める場面において、「個人研修計画」に沿った授業を行う。
- 「筋道立てて書く力」を高める場面を各単元で設定し、指導する。
- 終会時に「犁雨軒舎（りうそんしゃ）タイム」を実施し、家庭学習の内容・方法について指導・助言する。
- ◇地域貢献に関わる体験的な活動や発信・発表を学期1回以上行う。
- ◇地域コーディネーター（CSディレクター）と打合せを行い、共に活動することで、学習の充実を図る。

日々の授業の充実

徳

- 安心して学校生活を送る子ども
- ◇相手に伝わるあいさつをする子ども

- 学校が楽しいと感じる子どもが90%以上
- ◇相手に伝わるあいさつができる子どもが80%以上

- OGE、SSTなどの人間関係づくり、自己肯定感を高める活動を学期2回以上計画的に行う。
- 心の健康チェックの実施とそれに基づく全員との教育相談を学期に1回以上行う。
- ◇あいさつ強調週間を設け、あいさつボランティアやあいさつ運動を学期に6回行う。
- ◇給食時に素敵なあいさつの子どもを紹介する等、あいさつに関する講話・指導を学期に3回行う。

体

- 望ましいリズムで生活する子ども

- 生活リズムチェック週間の取組で7割以上
- が付く子どもが80%以上

- 生活習慣に関する事前指導、生活リズムチェックの事後指導を年3回行う。
- 生活リズムチェック週間に向けて目標時間を達成する方法を考えさせ、振り返らせる時間を年3回行う。
- 生活リズムチェック週間の結果を年3回たよりで保護者に紹介し、啓発を図るとともに事後指導資料とする。

保護者・地域の参加・参画・連携

- PTA活動
- サポート委員会
- 読み聞かせ
- トキっ子学習塾
- クラブ活動
- 大人のあいさつ隊
- 新穂地区あいさつ祭り
- 学校田活動
- いきいき学級
- 秋の遠足
- 商工会イルミネーション事業
- 地区学校運営協議会
(コミュニティースクール)